

新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 実施状況(平成29年度実績)

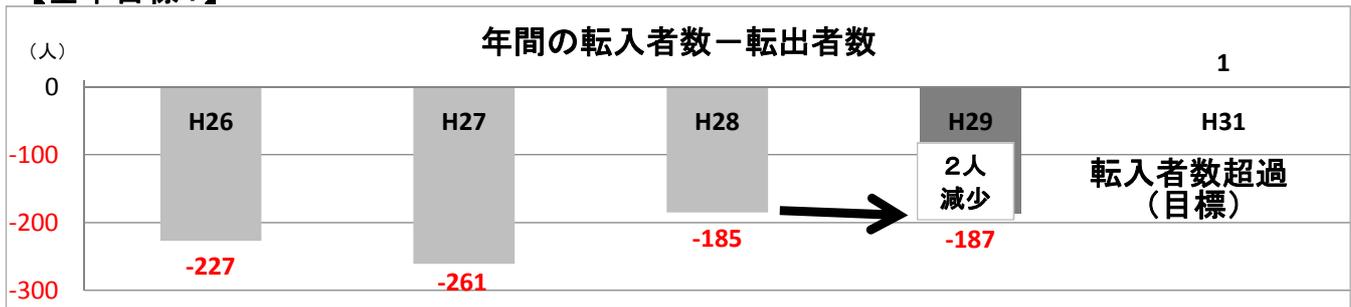
H27.9～H30.3

目次

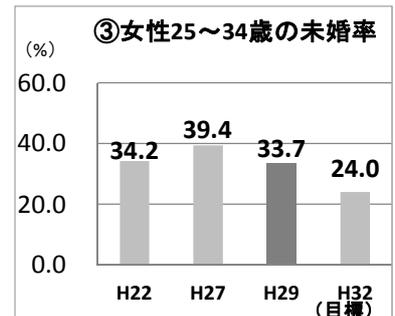
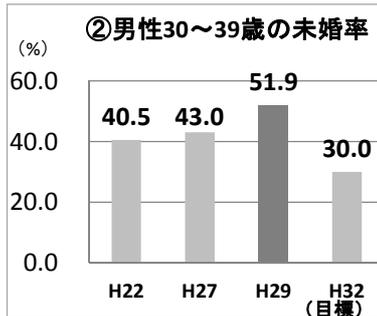
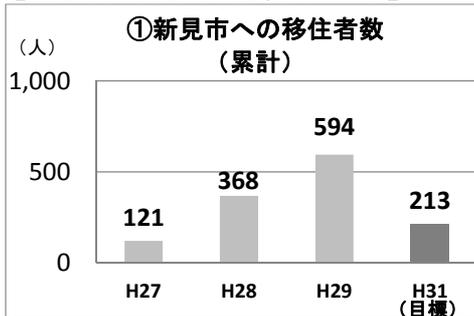
(1) 定住人口の増加に向けた取組	1
(2) 地域資源を活用した交流の活性化と産業振興	4
(3) 雇用機会の創出	7
(4) 担い手不足の解消	10
(5) 女性が輝くまちの実現	13

(1)定住人口の増加に向けた取組

【基本目標1】



【重要業績評価指標(KPI)】



※市民アンケートの結果より

※市民アンケートの結果より

○実施事業

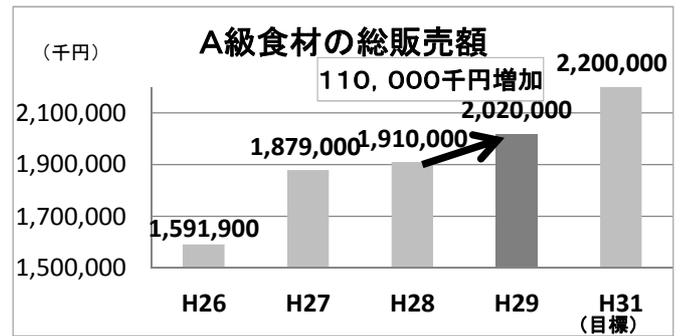
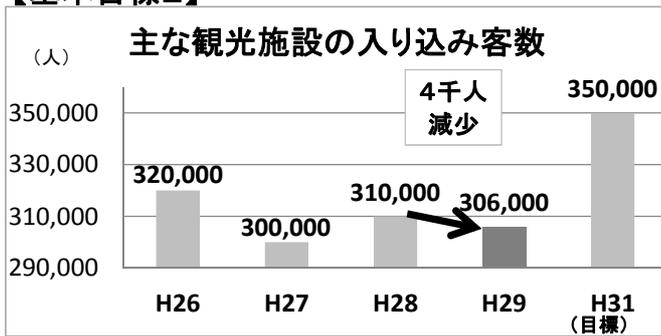
	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
①定住者確保に向けた取組	移住者拠点施設設置事業	移住希望者に対して、暮らしていくための「移」「職」「住」を包括的にサポートする体制を整備する。 ⇒移住者支援拠点を活用した移住希望者等に対する相談対応件数 年間10件を目指す	○実績 H29:18件 ・平成28年度に拠点となる「新見市移住交流支援センター」を整備し、H29.4.1に開設した。 ・移住定住事業をNPO法人Nimmiへ委託した。	企画政策課
	にいき移住体験ツアー実施事業	移住希望者を対象に、市内の公共施設や空き家を巡るほか、体験活動や先輩移住者との交流会を開催する。 ⇒移住体験ツアーの開催回数 年間3回以上の開催を目指す	○実績 H27:1回(2組6人参加) H28:2回(16組29人参加) H29:5回(6組11人参加) ・H29年度はこれまでのどおりの形式で1回、参加者の希望に添ってコースを組む「オーダーメイド型」で4回実施した。 ⇒今後はオーダーメイド型を中心に実施し、広報等にも力を入れ、移住者の呼び込みにつなげる。	企画政策課
	お試し暮らし支援事業	本市へ移住を検討している人が、実際に市内で移住に向けた活動を行う際に市内の指定宿泊施設へ宿泊を行う場合、利用者からは1世帯あたり1泊2,000円(ただし、宿泊基本料分のみ)を負担してもらい、差額分は市が直接、宿泊施設へ補助する。 ⇒お試し暮らし支援事業利用件数 年間30件を目指す	○実績 H27:35件、H28:40件、H29:54件 ・移住を検討している人や移住することを決定し、その準備を進めている人などにとって、非常に有用な制度である。 ・移住につながった件数は6件(10人) ⇒引き続き実施する。	企画政策課

事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
市外遠距離通勤者定住支援奨励金	市内に住所を有し、かつ、生活の本拠を置く者が、市外の遠距離(片道50km以上)にある事業所等へ通勤する場合、その通勤距離に応じ奨励金を交付することで、就職等による市外転出者の減少を図る。(奨励金の交付には各種条件あり) ・上限20,000円/月 ・前期(1~6月)、後期(7~12月)それぞれで申請の上、交付。 ⇒市外遠距離通勤者定住支援奨励金交付件数 年間30件を目指す	○実績 H28:14件、H29:11件 ・件数は目標の半数程度にとどまっている。 ・申請手続きの期間が短く、書類を揃える時間が無いため、前期は申請したが、後期は申請しない人もいた。 ⇒利用実績が低調であり、本奨励金による定住支援に対する効果は限定的であるためH29年度で制度を廃止。	企画政策課
空き家活用推進事業補助金	本市へ移住・定住を希望する人などが、市内の空き家を購入・改修・家財整理を行う場合、必要となる経費の一部を補助することで、更なる移住者の確保を図る。(補助金の交付には各種条件あり) ・購入(補助率1/3 上限200万円) ・改修(補助率1/2 上限300万円) ・家財整理(補助率2/3 上限20万円) ⇒移住者の空き家の購入・改修・家財整理の補助件数 年間10件以上を目指す	○実績 H27:6件(購入2、改修4) H28:21件(購入14、改修7、家財整理4) H29:27件(購入9、改修15、家財整理3) ※内訳については、購入、改修及び家財整理を一体として支援した場合も、それぞれ1件ずつカウントしている。 ・移住につながった件数は9件(19人) ⇒移住において、住宅確保は重要であり、また、空き家活用促進の観点からも引き続き実施する。	企画政策課
① 定住者確保に向けた取組 看護学生奨学支援金給付事業	市内の医療機関に看護師として勤務する意思がある学生に対し、修学に必要な資金を給付(年額1,200千円×4年間) ⇒期間中に医療従事者18人の確保を目指す	○実績 H26:1人、H27:2人、H28:2人、H29:6人 ・平成30年4月時点で9名に対して継続して給付。 ・平成30年4月時点で本制度利用した学生の12名が市内医療機関に就職した。 ⇒医療従事者確保のため、引き続き実施する。	市民課
移住者確保・支援事業	・空き家情報バンクの運営 市内に存在する空き家についての情報提供から入居決定までの支援を行う。 ⇒空き家情報バンクの年間登録件数 年間15件以上を目指す	○実績 H27:23件、H28:24件、H29:25件 ・平成29年度成約件数21件(売買12件、賃貸9件) ・移住につながった件数は9件(17人) ・登録件数も順調に増加しており、空き家バンクの情報をみた移住希望者からの問い合わせも増加している。 ⇒引き続き実施する。	企画政策課
	・定住フェア参加事業 東京・大阪・名古屋などの都市圏で開催される定住フェアに参加し、地方への移住希望者に対して本市の魅力PRする。 ⇒各相談会場での相談件数 各3件以上の相談対応を目指す (年間6回の各種相談会に参加を想定)	○実績 東京、大阪、名古屋で開催される相談会へ参加。 H27:参加回数 7回(相談件数 24件) H28:参加回数 9回(相談件数 51件) H29:参加回数 10回(相談件数 60件) ⇒H29年度は移住につながったケースはなかったが、相談件数は増加しており、今後も積極的に参加していく。	企画政策課
にいみ24時間安全安心相談ダイヤル事業	医師・保健師・看護師等の専門職による24時間年中無休体制による健康・医療・介護・育児等の電話相談窓口の設置 ⇒相談件数 年間900件を目指す	○実績 H28:620件、H29:597件 ・30代及び50代からの相談が全体の約半数を占めた。 ⇒今後、周知広報にしっかりと取り組み、医療介護、子育て不安の解消につなげる。	市民課

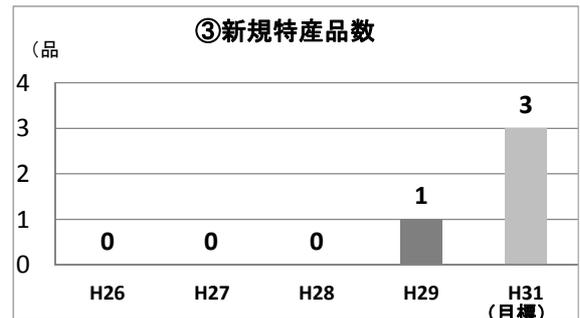
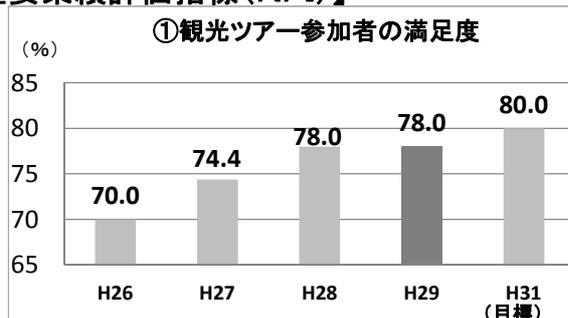
	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
② 独身男女の交流の場づくり	結婚推進事業	<p>・結婚相談、婚活イベント 独身男女を対象としたカップリングパーティーや結婚相談会を実施し、結婚の促進を図る。 ※新見市結婚推進協議会において実施する。</p> <p>⇒年間40組のカップル成立を目指す</p>	<p>○実績 H27: 8回実施、参加者のべ286人、カップル成立58組 H28: 7回実施、参加者のべ267人、カップル成立47組 H29: 7回実施、参加者のべ237人、カップル成立47組 ※対象者特化型事業を含む。 ・成婚数5組(平成30年3月31日現在) ⇒独身男女の出会いの機会の提供のため今後も実施する。</p>	企画政策課
		<p>・対象者特化型カップリングパーティー実施事業 対象者を特化したカップリングパーティを実施し、市内企業の安定的な地元雇用を図る。 ※新見市結婚推進協議会において実施する。</p> <p>⇒対象者特化型イベント開催回数 年間2回を目指す</p>	<p>○実績 H27: 3回、H28: 2回、H29: 2回 ・ワインに興味がある人 (会場: domaine tetta、cavatina) 参加者31名、カップル成立5組</p> <p>⇒対象者を特化したことにより、これまで参加していなかった独身者を呼び込むことができたため、引き続き実施する。</p>	企画政策課
		<p>・若者イベント企画・運営支援事業 市内在住在勤の独身者に出会いの場を提供することを目的としたイベントを実施する団体に対し、補助を行う。 市内在住在勤の独身参加者1人あたり2千円1事業あたり5万円を上限とする ※新見市結婚推進協議会において実施する。</p> <p>⇒イベントへの補助件数 年間2件を目指す</p>	<p>○平成29年度は、制度内容の問合せ等はあったが、活用事例はなかった。 ・平成28年度に制度設計を行い、平成29年度から募集を開始した。</p> <p>⇒平成30年度は、事業所や団体に積極的にPRを行い制度の普及を図る。</p>	企画政策課

(2) 地域資源を活用した交流の活性化と産業振興

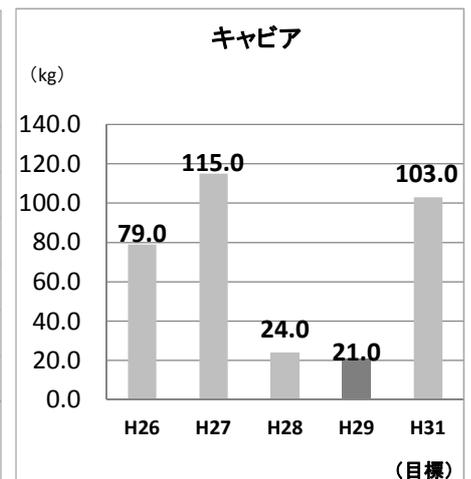
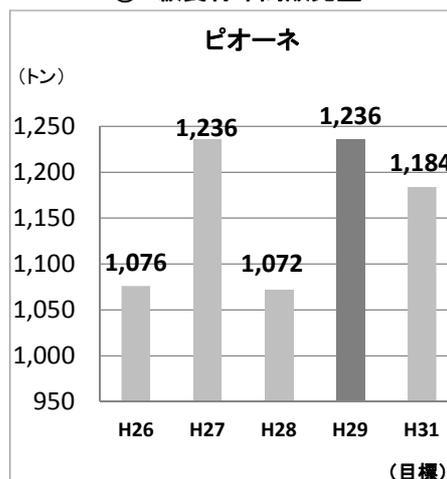
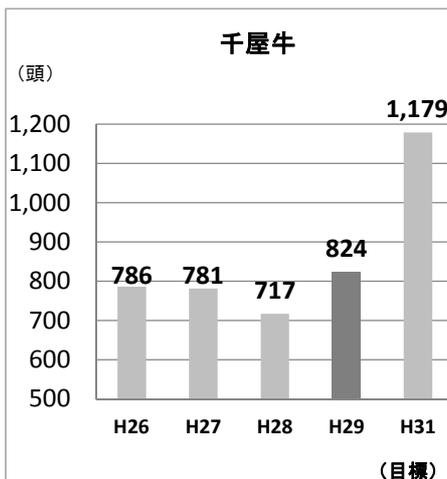
【基本目標2】



【重要業績評価指標(KPI)】



②A級食材年間販売量



○実施事業

事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
① 交流の活性化による観光振興	新見市PR動画等制作事業	<p>○実績 H29: 17世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度は観光向け及び移住向けのPR動画を1本作成した。 ・関西圏へテレビCM、JR広告及びインターネット配信を実施した。 <p>⇒平成30年度も観光向け及び移住向けのPR動画を作成予定。</p>	企画政策課
	スマホアプリ情報発信事業	<p>新見市の情報や観光スポット等の情報を見ることができる、スマートフォン用情報配信アプリ「新見まちナビ」を作成し、移住・定住及び観光の促進を図る。</p> <p>⇒平成31年までに登録者数500人を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度にアプリを制作。 ・平成29年度から運用開始予定であったが、ホームページの改良に伴う連携システムの調整や、スマートフォン等のアップデートに伴う調整を実施したため本格運用にはいっていない。調整完了後に運用開始予定。 <p>⇒平成30年度早期に運用開始予定。</p>

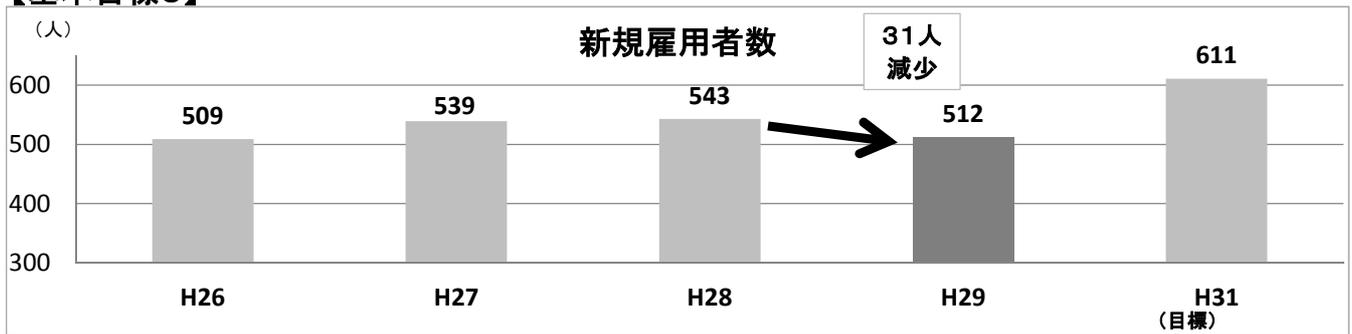
事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
・周遊型観光ツアー助成事業 ・インバウンド周遊型観光支援事業	新見市内観光施設の観覧を目的とする企画旅行を実施した旅行者へ、要件を満たすことにより、旅行者1名につき、1,000円、2,000円又は4,000円の補助を行う。 ⇒当該事業を活用したツアーにより新見市へ訪れる観光客数 年間8,740人を目指す	○実績 H27:163人、H28:7,020人、H29:7,229人 ・昨年から、岡山県内をはじめ、中国地方、兵庫県、大阪府からの利用が多いが、四国の徳島・香川・愛媛からの利用が急増している。国内在住の外国人の旅行者もある程度あった。 ⇒引き続き実施する。	商工観光課
土産品開発支援事業	市の新たな土産(特産品)を開発するための資金を補助し、新たな土産物の開発を行うことで、観光の促進を図る。 ⇒土産物開発支援補助金の採択件数 年間10件を目指す	○実績 H28:2件、H29:0件 ・申請が低調であった。 ・補助金に関する問い合わせはあり。 ⇒商工会議所、商工会、観光協会等の会員に対して周知を図っていく。	商工観光課
予約型観光タクシー運行事業	公共交通機関の便が少ない、または全くない観光地を訪れてもらいやすいように、新見駅からタクシーを利用して観光を行う場合に補助金を支出する。 ⇒補助金を受けて新見市を訪れる観光客 年間200人を目指す	○実績 H29:299件 ・H29年4月から試行し、8月から本格運用を行っている。 広い市域に観光スポットが点在していることから、好調に利用が進んでいる。 ⇒引き続きPRIにつとめ利用者の拡大を図る。	商工観光課
A級グルメフェア開催事業	にのみA級グルメを市内外に広くPRするためのイベントを開催し、「食」による新たな観光客の誘致や食品の販路開拓につなげる。 ⇒イベント来場者数 7,000人の来場を目指す	○実績 H27:7,000人、H28:7,500人、H29:8,000人 ・H29年度は10月8日に開催。天候に恵まれ、目標以上の来場があった。 ⇒来場者数増加を目指し、内容を検討しながら、継続して実施する。	商工観光課
にのみ周遊スタンプラリー事業	観光客等と市内周遊を促進するため、destinationキャンペーンと併せてスタンプラリーを実施する ⇒スタンプラリー応募者数 年間1,000人を目指す	○実績 H28:809人、H29:802人 ・前年度とは委託業者が変更となったが、応募者は前年度とほぼ同様であった。 ⇒今後も観光協会等との連携も含め内容等検討しながら、実施していく。	商工観光課
大規模旅行商談会出展事業	東京で開催される世界最大級の旅行博覧会「ツーリズムEXPOジャパン」等大規模旅行展への出展 ⇒大規模な商談会等へ出展し、PRを行う旅行者15社以上を目指す	○実績 H28:10社、H29:14社 ・9月21日～24日に東京ビッグサイトにて開催された。商談会では旅行者に対して、新見市の観光スポットや補助制度等をPRした。 ⇒継続して実施する。	商工観光課
観光戦略策定事業	観光客の集客増加を目指すため、効率的な事業を実施するため、観光戦略を策定する。 ⇒平成31年までに観光戦略を策定する。	・H29年度で観光事業審議会からの答申を受け、観光戦略(案)を作成した。パブリックコメントを経てH30年度で策定する。 ・観光事業審議会において、市の観光の柱を検討してもらい、「石灰(らいむ)」を新たな観光の柱とし、「白と黒の不思議～らいむアーツにのみ～」を新たな観光ブランドとして提唱をいただいた。 ⇒H30年度以降は、戦略に基づいて事業を実施する。	商工観光課
観光キャラクター制作事業	新見市の観光におけるPR効率を高めるため、観光キャラクターを作成し、作成したキャラクターで市外県外でのイベントに参加し、新見市の観光PRを図る。 ⇒市外でのイベント参加回数、年間5回以上を目指す。	○実績 H29:13回 ・キャラクターの出演により、新見市のPRを行った。 市内でのイベントの出演は52回であった。 ⇒引き続き、観光イベントなどに積極的に活用していく。	商工観光課

① 交流の活性化による観光振興

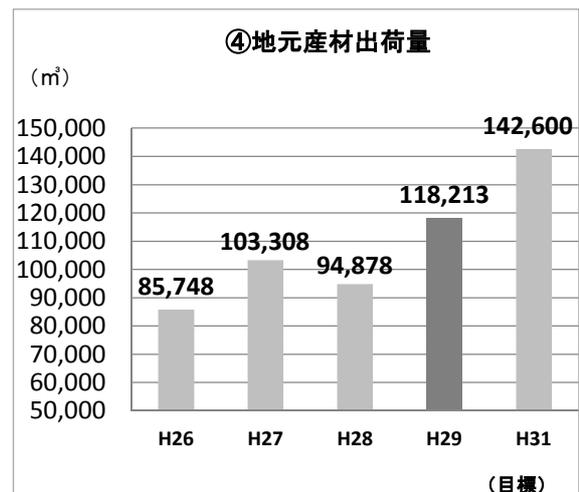
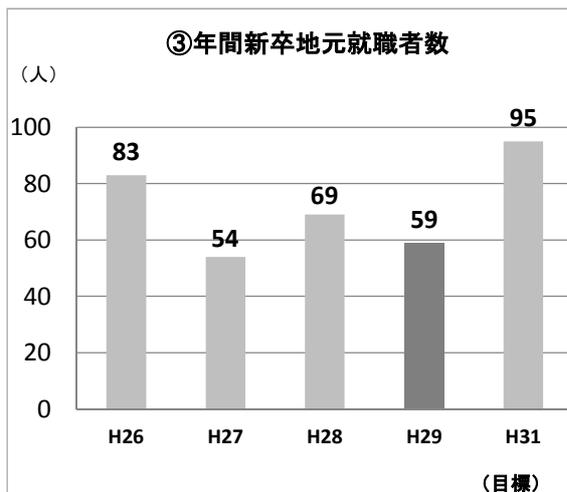
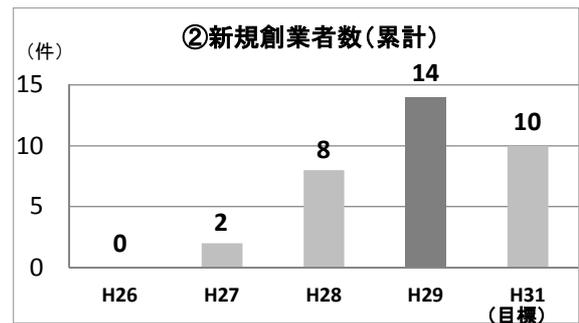
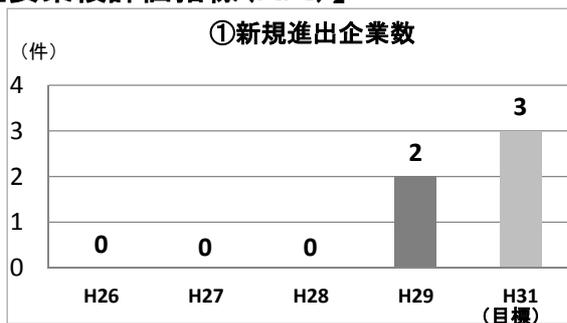
	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
① 交流の活性化による観光振興	専門人材配置事業	観光協会へIT関係に詳しく外国語に堪能なスタッフを配置し、観光関連事業者を支援する。 ⇒支援回数 年間50件を目指す	○実績 H28:2件、H29:0件 ・新見市観光協会が行う事業に対して補助を行っている。 市内事業所からの要請はなかったが、観光協会を訪れる外国人客に観光地の案内を行った。 また、観光事業者や一般市民を対象におもてなし向上セミナーを開催した。 ⇒観光関連事業者への周知を行いながら、引き続き実施する。	商工観光課
	クアオルト健康ウォーキング事業	市内の認定コースをウォーキングし、市民の健康づくりを進め、健幸寿命の延伸を図る。併せて、市外の人にも積極的に利用してもらい、産業振興や交流人口の拡大による観光振興を図る。 ⇒クアオルト健康ウォーキングの参加者 年間参加者数2,000人を目指す (市内:1,600人、市外400人)	○実績 H29:192人(市内:154人、市外:38人) ・10月22日のイベントを皮切りに、週1回、認定2コースを歩く「毎週ウォーキング」の実施や、週末を利用し行う「イベント型ウォーキング」、団体などからの予約に応じて提供する「予約型ウォーキング」などに取り組んだ。 ・毎週ウォーキング:1回あたり6.7人の参加 ・イベント型ウォーキング:23人の参加 ・予約型ウォーキング:5団体、54人の参加 ⇒PRに務めながら、引き続き実施する。	
② A級食材のブランド化	新見A級食材ブランド化事業(販路拡大)	海外や都市部に対して、ピオーネを中心とした本市の特産品をPRし、A級食材の売り上げアップにつなげる。 ⇒A級食材年間販売量(ピオーネ) 1,184tを目指す	○実績 H28:1,072t、H29:1,236t ・新規就農者の規模拡大や天候の影響もあり、生産者全体の収量が増加。 ・9月30日に香港そごうでトップセールスを実施。 ⇒引き続きPRを実施する。	
	千屋牛の増頭振興	千屋牛に対する補助金制度を創設し、千屋牛の積極的な増頭を促す。 ⇒繁殖牛の飼育頭数 1,600頭を目指す	○実績 H27:1,027頭、H28:1,068頭、H29:1,102頭 ・前年度と比較して増加しているが、目標値には達していない。 ・平成29年度に「千屋牛増頭奨励金」を新設。(H29実績:6頭) ⇒助成制度をPRしながら、飼育頭数の増加を図る。	農林課
	新見A級グルメワイン特区活用事業	「新見A級グルメワイン特区」の認定を受けワイン用ブドウ生産等の拡大を図る。 ⇒ワインぶどう栽培面積 5haを目指す	○実績 H27:4.2ha、H28:4.7ha、H29:7.7ha ・平成27年5月 特区認定 ・平成29年度から「新見市ワイン用ぶどう苗木購入助成金」制度を新設。 ・哲多町矢戸・荻尾地区において、3組の生産者が規模を拡大したため。 ⇒助成制度をPRしながら、引き続き拡大を図る。	農林課
③ 地域資源の活用による産業振興	新特産品開発	新見市の自然条件を活かした、新しい特産品となり得る作物及び加工品を開発する。 ⇒新たな特産品の開発 3品目を目指す	○実績 H29:1件 ・H29年度は桃の新品種「白皇(はくおう)」。 ・「新特産品開発実施要綱」に基づき、各機関へ調査研究を委託している。 ⇒引き続き実施する。	農林課

(3) 雇用機会の創出

【基本目標3】



【重要業績評価指標(KPI)】



○実施事業

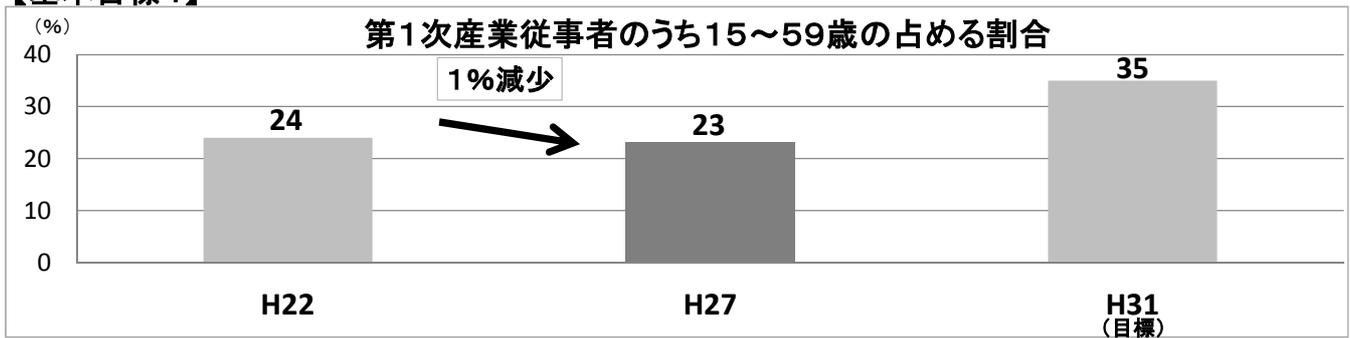
事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
① 企業誘致の推進	新見市内廃校施設の利活用事業 市内の廃校施設を利用し、地域活動等の拠点施設として利活用する。 ⇒期間中1件の利活用を目指す	○実績 H28:1件、H29:0件 ・2団体を現地案内。 ・昨年度から協議中の案件が1件ある。 ⇒引き続き実施する	教育総務課
	企業誘致工場等建設事業 県営工業団地等に企業を誘致する際に、奨励金を用意し、誘致活動を促進する。 ⇒期間中1件の立地を目指す	○実績 H27:1件、H28:0件、H29:2件 ・県営工業団地2区画について立地が決定した。 (株)アースクリエイト (株)本宏製作所 ⇒引き続き実施する	

	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
② 創業支援	創業支援事業	新たな創業予定者に対して創業補助金や創業支援施設i-boxlにいみの利用を進めることで、創業を促進する。補助金については、市内、女性又は移住の創業でそれぞれ補助率を設定している。 ⇒新規創業件数 年間5件を目指す	○実績 H27:2件、H28:6件、H29:6件 ・創業補助金活用 6件 ・i-boxlにいみ新規入居 0件 ・移住定住フェア等においても創業支援補助金やi-boxlにいみのPRを行っていく。 ⇒引き続き実施する。	商工観光課
	農林畜産漁業新規創業支援事業	農畜産を営む農業生産法人等が、新たに用地取得や施設を整備する場合に、その費用や新規常用雇用者に要する費用を助成する ⇒立地企業数 期間中2件を目指す	○実績 H27:0件、H28:0件、H29:1件 ・現時点で、3件の申請があり。 ⇒引き続き制度の周知を図る。	農林課
	創業支援セミナー開催事業	産業競争力強化法に基づく新見市創業支援事業計画による創業支援セミナーを、1シリーズ4テーマ(4回)を2シリーズ(計8回)実施する。 ⇒創業支援セミナー参加者数 年間24名以上	○実績 H28:21名、H29:13名 ・H29年度実績の内訳 1シリーズ目(5月開催)10名参加 2シリーズ目(1月開催)3名参加 ⇒引き続き実施する。	商工観光課
③ 中小企業・小規模事業者への支援	産業フェア開催事業	市内事業者の販路拡大や、製品・商品のPR、若者の就労支援などを目的に、市内事業者の事業概要を紹介する産業フェアを実施する。 ⇒産業フェアの開催回数 平成31年までに1回	○実績 H29:1回 ・11月18日に開催 ・入場者2,500名 ・展示PRゾーンに35社、グルメゾーンに6社出展 ⇒平成29年度実施し目標を達成。今後の開催については未定。	商工観光課
	地域づくり協働プロジェクト	民間事業者と協働で調査・研究を行うことにより、新たな雇用を創出し、若者の働く場を確保する。 ⇒市外就職している高校卒業者のうち、50%の市内就職を目指す (H23~H27平均で約50人の高校卒業者が市外へ就職している。)	・平成29年度は調査結果を活用しながら、具体的事業の検討・実施を行った。 ・平成30年度は検討結果を活用しながら、事業を実施する。 ⇒引き続き実施する。	企画政策課
	UIJターン就職支援事業	ハローワーク等で把握しきれない小規模な事業所の求人情報など地域密着型の職業紹介所を開設し、市内外の求職者とのマッチングを図る。 ⇒あっせんによる就職者数 期間中5名の就職者数を目指す	○実績 H29:2名 ・相談件数が少ないので、対策等を検討予定。 ⇒引き続き実施する。	商工観光課
	企業人財育成サポート事業	地元企業の人材育成を行うため、企業で必要な資格等を調査し、その資格取得に対して補助金を交付することで、企業人財育成のサポートを行うとともに、新たな雇用の創出及び雇用定着率の向上を図る。 ⇒補助金交付件数 年間10件を目指す	○実績 H29:68件 ・1件あたりの補助額が少ない。 ・制度の浸透が図れている。 ⇒引き続き実施する。	商工観光課
	企業巡りツアー開催事業	高校生を中心とした若者向けに市内企業を巡るバスツアーを実施する。 ⇒バスツアー実施回数 年間2回を目指す	○実績 H28:1回、H29:2回 ・夏休みと春休みに実施する。 ・8/24に大学生向けのツアーを実施。8名の参加。 ・3/27に高校生向けのツアーを実施。7名の参加。 ⇒引き続き実施する	商工観光課

	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
④ 森林資源の有効活用	木材循環型社会創生プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス施設整備 温泉などの公共施設や民間の農業用ハウス及び一般家庭などにボイラー施設を整備する。また、ボイラーの燃料となるチップの製造施設も整備し、森林資源の有効活用につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成32年から神郷下神代のバイオマス発電所が稼働する予定であり、年間4万tのバイオマス材が集材されることとなっている。発電所経営者、素材生産者、行政が連携し、この目標を達成したい。 <p>⇒施設整備に向けて事業を進める。</p>	農林課
		<ul style="list-style-type: none"> ・自伐型林業支援事業 「森林施業コーディネーター」を配置し、自伐型林業施業を行う人への講習等を行い、林業従事者の育成等を実施する。 <p>⇒自伐型林家登録者 200名を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実績 H28:64名、H29:63名 ・H29.5から(一社)人杜守に業務を委託し、山林に関する相談対応や新聞・SNS等を活用したPR。 ・自伐型林業を生業として成立させるためのビジネスモデル確立に向けた検証作業等にも取り組む。 <p>⇒引き続き実施する。</p>	農林課

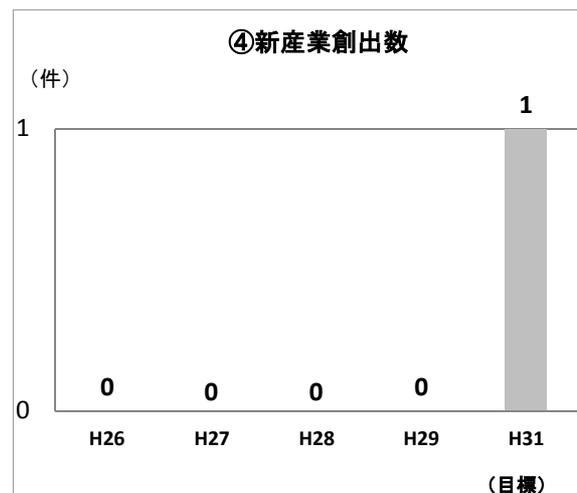
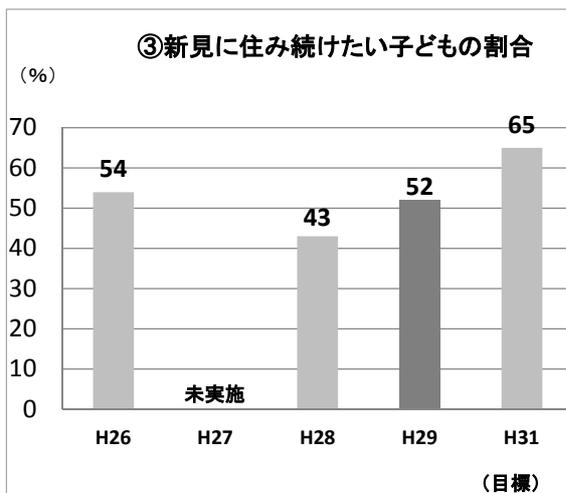
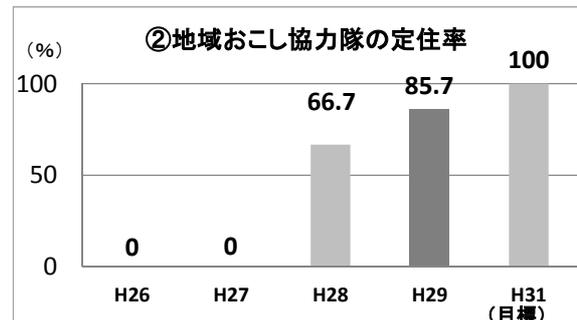
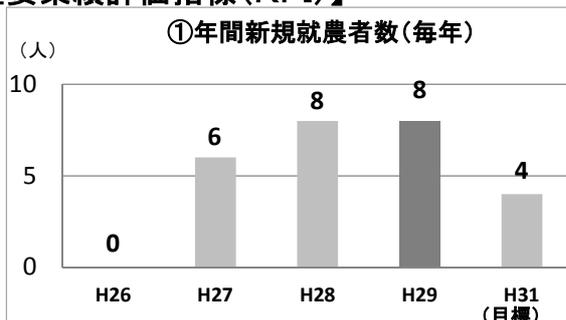
(4) 担い手不足の解消

【基本目標4】



※国勢調査の数値

【重要業績評価指標(KPI)】



○実施事業

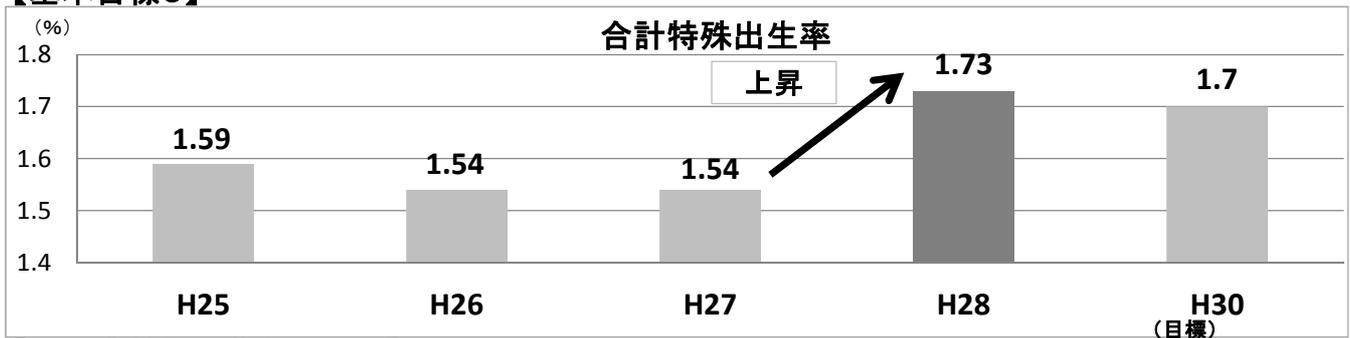
事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課	
①農林業の活性化	にこみで農業「移」・「職」・「住」	<ul style="list-style-type: none"> ・就農相談会参加事業 東京・大阪等都市部で開かれる就農相談会へ参加し、新規就農を目指す人へのPRをする。 ⇒短期農業体験者数 年間8名を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実績 H27:7名、H28:8名、H29:8名 ・長野県2名、神奈川県2名、大阪府3名、福岡県1名 ⇒引き続き実施する。 	農林課
	就農準備講座	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農希望者を対象に農業の技術習得のため、専業農家の方を講師に作物ごとの栽培講習を行う。 ⇒講座受講生数 年間10名を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○実績 H28:20名、H29:13名 ・ピオーネコース6名 トマトコース 3名 りんどうコース4名 ⇒新規就農者獲得に繋がっていることから、引き続き実施する。 	農林課

事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
学力アップ！すぐに役立つ授業シート集と漢字検定及び問題集の整備と利用	<p>小学校では、サーバーに漢字検定や練習問題集を整備し、中学校では、サーバーに整備した独自の授業・家庭学習用ワークシート集の充実を図り、サーバーデータの利用促進を図る。</p> <p>⇒全国学力学習状況調査結果で、小学校6年生と中学校3年生が1時間以上家庭学習を行っている割合を90%にする</p>	<p>○実績 H28:17校(全校に導入) H28:75%、H29:70.4%</p> <p>・H28年度に作成し、全校で使用可能となっている。</p> <p>⇒今後は問題集を使いやすい形で再度整備するなど、積極的な活用方を探る。</p>	学校教育課
「つながりを重視した、新見市小中一貫教育モデル校区実践」事業	<p>市内学校の小中一貫教育の研究・推進のため、新見南中学校においてモデル的に事業を行い、検証する。小中一貫教育の推進により、児童・保護者に安心感を与え、子育ての不安の軽減につなげる。</p> <p>⇒新見市内の5つの中学校区で行われた小中合同行事、小中連携交流、小小連携交流の総数 年間35回を目指す</p>	<p>○実績 H27:20回、H28:21回、H29:25回</p> <p>・新見南中学校区(新見南中、新見南小、井倉小、草間台小)で事業を実施。</p> <p>・中学校から小学校への出前授業、中学校体験及び部活動体験などの小中連携。</p> <p>・3小学校による修学旅行及び合同授業などの小小連携。</p> <p>⇒引き続き実施する。</p>	学校教育課
③次世代を担う人材の育成 地域で支える開かれた学校づくり:コミュニティ・スクールの設置	<p>文部科学省が推進する「コミュニティスクール」の実施。</p> <p>地域住民や保護者等から構成される学校運営協議会を設置し、学校運営や教育活動に対する意見や助言をもらうことで、地域ぐるみの教育体制の構築を図る。</p> <p>⇒学校運営協議会会議の各学校実施回数 平均4回以上</p>	<p>○実績 H28:2.5回、H29:3回</p> <p>・平成29年度はすべての小・中学校(22校)でコミュニティ・スクールを4月1日付けで設置。</p> <p>・学校運営協議会で協議題として取り上げ、各学校単位での塩から子育てのための宿泊体験活動を5つの小学校区で実施。</p> <p>・コミュニティ・スクール導入等促進事業県補助金を活用して、他地域の視察や委員の研修会を開催。</p> <p>⇒引き続き実施する。</p>	学校教育課
「英語教育のまち: Niimi」発信事業	<p>英語教育の拡充により、教育環境の充実を図り、定住者の増加を図る。</p> <p>⇒「英語教育のまちNiimi」についての発信数 年間15回を目指す</p>	<p>○実績 H28:5回、H29:11回</p> <p>・新しい英語教育の実践に向けて、文部科学省から調査官を招く公開授業研修会を小・中学校で各1回開催した。</p> <p>・新見市英語講座を10回実施。</p> <p>⇒引き続き実施する。</p>	学校教育課
たくましい新見塩からっ子育て 思いっきり体験事業	<p>児童が自然や産業に触れ、新見市の良さを発見するための体験モデル学習を実施する</p> <p>⇒参加児童生徒が将来も新見に住みたいと思う割合90%以上を目指す</p>	<p>○実績 H28:70%、H29:88%</p> <p>・平成29年度は、サマーバージョンとして2泊3日の宿泊体験活動、ウインターバージョンとしての日帰り体験活動を実施。</p> <p>・小中学校区バージョンとして5小学校区での体験活動の3つを実施することができた。地域の人材を活用し、地域の良さを発見できる機会とすることができた。</p> <p>⇒引き続き実施する。</p>	学校教育課

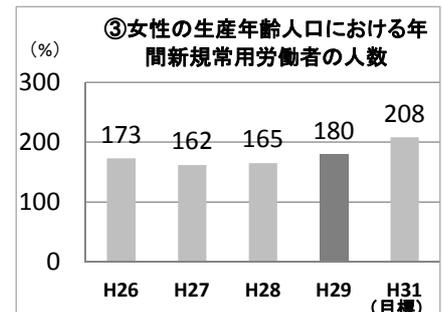
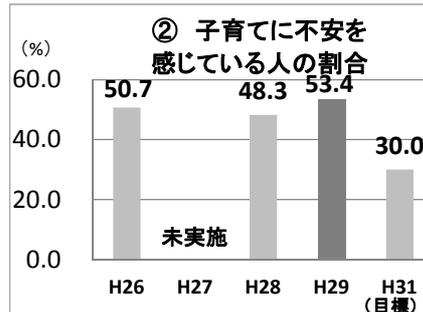
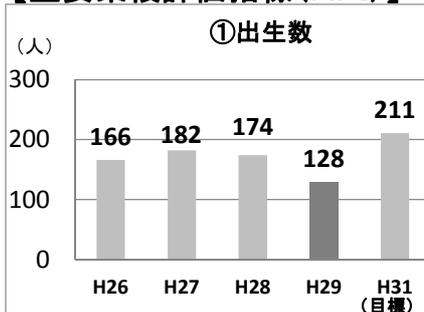
	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
③ 次世代を担う人材の育成	ICT活用教育推進事業	市内小中学校におけるICT利活用教育を推進する ⇒授業でICTが十分に利活用されていると感じている児童生徒の割合90%以上を目指す	○実績 H29:70% ・プログラミング教育の研究として「Pepper」を活用した授業研修会を、新見第一中学校、神代小学校、新砥小学校で実施。 ・市内全中学校でのICT活用教育推進事業授業研修会を実施。 ⇒引き続き実施する。	学校教育課
④ 大学との連携	新見版地方創生塾	新見公立大学を核とする各種連携により、新産業の創出に資する研究や次世代リーダーの育成を目指す市民参加型の塾を開催する。 ⇒地方創生塾の開催件数 年間12回を目指す	○実績 H27:6回、H28:13回、H29:11回 定例講座 4回 特別講演 6回 視察 1回 その他ワークショップなどを適宜開催 ⇒引き続き実施する。	企画政策課

(5) 女性が輝くまちの実現

【基本目標5】



【重要業績評価指標(KPI)】



○実施事業

事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
① 妊娠・出産包括支援事業	母子保健コーディネーター等の配置による妊婦相談の充実、母乳・育児講座、産科ケア入院、産後ヘルパー訪問 ⇒各支援の利用者総数年間120人を目指す	○実績 H27: 38人 (産後ケア 0、母乳・育児 34、ヘルパー 0) H28: 106人 (産後ケア 1、母乳・育児 105、ヘルパー 0) H29: 93人 (産後ケア 4、母乳・育児 88、ヘルパー 1) ・昨年度と比較して利用者の実数は増えている。 ⇒引き続き実施する。	健康づくり課
② 子育て支援施策の充実	将来のパパママ育成事業 市内の中学校、高校に対して、おでかけ健康教室を開催し、妊娠・出産についての正しい知識を学ぶ機会を提供する。 独身男女を対象とした事業も実施する。 ⇒参加者のうち、ライフプランを設計できる人が55%以上	○実績 H28: 44.6%、H29: 45.7% ・将来のパパママスクール(新見高校北校、共生高校) 47.5%(99人中、47人達成) ・にいみキッチンスタジオ(独身40歳未満男女) 男性: 12%(8人中、1人達成) 女性: 56%(9人中、5人達成) ⇒引き続き実施する。	健康づくり課
ファミリー・サポート・センター事業利用助成事業	ファミリーサポートセンター利用料の一部助成 ⇒助成金支給件数年間60件を目指す	○実績 H28: 18件、H29: 15件 ・延べ利用日数30日 ・延べ利用時間32時間 ・助成金支給額16,000円 ⇒さらなる制度の周知を図りながら、引き続き実施していく。	こども課

	事業名	事業内容と目標	実績と考察	担当課
	地域子育て支援拠点事業	<p>公立大学に子育て支援拠点施設(子育て広場、子育て支援センター)を開設し、親の孤独感・不安感の解消と子どもの健全な育成を図る。</p> <p>⇒子育て広場利用人数 年間11,300人を目指す</p>	<p>○実績 H28:10,363人、H29:10,183人 開設日数:239日 利用人数【子ども】:6,020人 利用人数【保護者】:4,163人 延べ利用親子数:10,183人</p> <p>⇒さらなる制度の周知を図りながら、引き続き実施していく。</p>	
③女性の社会進出支援	放課後児童健全育成事業	<p>市が認定した放課後児童クラブに対して補助金を交付する</p> <p>⇒放課後児童クラブの設置件数 11クラブを目指す</p>	<p>○実績 H27:9クラブ、H28:10クラブ、H29:10クラブ ・通年開設が7クラブ、長期休業中開設が3クラブ、合計10クラブが放課後児童健全育成事業を実施 ・平成29年度の利用児童数は延べ1,694人であり、平成28年度に比べて210人減少している。 ・登録児童数の要件緩和や支援員の確保につながるよう、運営面での支援の充実を図った。</p> <p>⇒クラブの支援員の確保などの支援も行いながら、引き続き実施する。</p>	学校教育課
	育児休業取得促進事業	<p>市内中小企業事業者を対象に、職場復帰することを条件に、育児休業を取得した人1人あたり45万円の助成を行う</p> <p>⇒代替雇用者数 年間30人を目指す</p>	<p>○実績 H27:2人(1社) H28:10人(10社) H29:9人(4社)</p> <p>⇒さらなる制度の周知を図りながら、引き続き実施する。</p>	こども課